

応援者メッセージ (50音順 敬称略)

落合恵子 (作家/クレヨンハウス主宰)

毎週金曜日のあの時間、どこにいても、何をしても、今頃、国会前ではと考えていました。そう考えるだけで心に灯がともりました。どれほどの元気が励ましを、反原連のご活動から、贈られ「続けてきた」とか!心から感謝しつつ、共感いたします。そのご活動が、場合によっては終わりを迎える可能性があるかもしれないとかが、衝撃を受けています。

反原連の皆さまが、「これで、一応の句読点」と心からおっしゃるのなら、それはそれで納得いたします。が、他の理由があるのでしたら、微力でもわたしたちができることを一緒に考えていきたいと思ひます。

香山リカ (精神科医)

原発事故が日本を大きく変えた。暗い方向に。でも、反原連の官邸前抗議も日本を大きく変えた。希望ある未来へ。誰もが怒りを表明することが出来る。同じ思いを持つ人と集うことができる。福島、日本のあちこち、そして世界とつながることも出来る。反原連が教えてくれたことは数えきれない。私もまたあの場に行く。そしてあなたとともに、声を上げ続けたい。

古賀茂明 (元経産官僚/改革はするが戦争はしない「フォーラム4」代表)

反原連の活動が無くなったら、安倍総理は、こう思うでしょう。「やっぱり、国民はバカだ。時間が経てば忘れるんだ」。だからこそ、反原連の活動をみんなで支え、ずっと、ずっと、続けていかなければならないのです。個人にできることは限られています。みんなが力を合わせるしかありません。反原連の活動を支えましょう!できることから始めましょう!そして、続けましょう!

佐藤学 (学習院大学教授/学者の会発起人/市民連合呼びかけ人)

私たちは次世代のために「ノーモア・ヒロシマ」「ノーモア・フクシマ」を語り続けなければなりません。安倍政権のように戦争や原発事故の歴史を抹消しようとする政権に対しては、可能な限り大きな声で叫び続けなければなりません。その行動の中心を担っている反原連の活動を、私は一人の人間として一人の市民として支え続けたいと思ひます。

このドネーション・プロジェクトに協力し、私たちの声をもっと大きな繋がりでも響き合わせましょう。

中沢けい (小説家/法政大学教授)

これまで粘り強く脱原発、反原発の運動を続けてこられた皆さまに深く敬意を表します。日本のエネルギー政策は根本から見直される必要があります。皆さまの声を目に見えるかたちにしたことで、政治家が動きまわりました。財界人が動きまわりました。官僚が動きまわりました。しかし、原発再稼働が続き、ともすると脱原発、反原発の声はなかったことになりそうな気配もあります。あのひどい原発事故はまるで「なかった」ことのようにして、直接の被害者を孤立させることが原発政策をこれまでどおりに続けていこうとする人々の狙いです。どうか皆さまのお力添えで、日本のエネルギー政策が転換される日まで声を出し続けてゆくことができるようにしてください。

西谷修 (哲学者/立教大学特任教授)

すでに5年を超えて継続されている反原連の活動は、その形態や志向において日本の市民運動のあり方を一新するものでした。今日本では戦後最大の政治的危機にあり、政権の腐朽と横暴にもかかわらず、多くの市民が随所で多様なしかたで声を上げています。そのさきがけとなり、指標にもなってきたのが反原連の活動です。この運動が、日本社会の変化を目に見えるものにする原発の火の消えるその日まで続けられることを望みます。

「抗議の公共空間」を維持するコスト 小熊英二 (社会学者)

もし首都圏反原発連合が、継続的に国会周辺で抗議活動を行なっていなかったら、あの空間が各種の抗議に使えらる状況がありえたらどうか。私は、それは難しかったらと思う。官邸前・国会前は、法令などの制限があるため、もともと抗議活動などできなかった場所だ。それが震災後に、現在のような抗議の場に変化した理由は二つある。

それは第一に、原発事故後の非常事態のなかで、首都圏反原発連合がああ場所で抗議を始めたこと。第二に、彼らが5年以上にわたる継続的な抗議と、警察との駆け引きを通じて、あの場所を維持してきたことだ。15年夏の安保法制への国会前抗議や、現在でも行われている各種の抗議活動は、こうした下地と、継続的な努力なしにはあり得なかった。公共空間は、継続的な維持の努力がなければ、すぐに何もできない無人地帯に逆戻りする。全国の公園や公共施設が、不自由な空間になりつつあることは、多くの人が知るところだ。

この数年のうちに、おそらく憲法改正の発議が行なわれる。首都圏反原発連合が抗議を継続できなくなれば、官邸前・国会前の空間は、誰も抗議ができない震災前の状態に逆戻りする可能性がある。彼らの活動継続への助力は、日本における「抗議の公共空間」を維持するためのコストでもあるといえるのではないかと。私はそう考える。

活動の軌跡 (2017年6月24日現在) 首都圏反原発連合は、毎週金曜の定例会議、年数回の拡大戦略会議を通じ、民主的に運営しています。

【直接行動】

- 再稼働反対!首相官邸前抗議(金曜官邸前抗議) 開催回数 248回 参加者:累計 1,622,250人
 - *2012年6~7月には20万人もの人々が参加し、金曜の脱原発の抗議行動は全国に広がりをみせました。
 - *2012年8月には反原連の代表者らが、総理官邸にて野田首相に直接申し入れをしました。
- 大規模行動(デモ、抗議、集会など/共催含む) 2011年10月から30回 参加者最大 200,000人
- 緊急行動(経産省前、電力会社前での抗議など) 2012年8月から27回



金曜官邸前抗議

国会前大行動

【リーフレットなどの発行】 ()内は改訂版含む総発行部数

- 脱原発「あなたの選択」プロジェクト(2012衆院選)(420,000部)
- 脱原発「あなたの選択」プロジェクト2013(2013参院選)(505,000部)
- NO NUKES MAGAZINE vol.01<Basic編>結局、原発なくても大丈夫?(330,000部)
- NO NUKES MAGAZINE vol.02<放射能編>放射能は安全に管理できるの?(200,000部)
- NO NUKES MAGAZINE vol.03<電気料金編>原発がなくなると電気料金が上がるってホント?(100,000部)
- NO NUKES MAGAZINE vol.04<エネルギーシフト編>NO NUKES! ENERGY AUTONOMY!(50,000部)
- 川内原発再稼働やめろ(225,000部)
- 高浜原発再稼働やめろ(65,000部)
- 伊方原発再稼働やめろ(90,000部)
- SMASH FASCISM! ABE OUT!(91,000部) *発行:安倍政権 NO!☆実行委員会
- 金曜官邸前抗議・リーフレット(10,000部)
- 月刊・金曜官邸前抗議通信(月間フライヤー)(867,000部) *2012年10月から毎月発行



脱原発「あなたの選択」プロジェクト2013



伊方原発再稼働やめろ

SMASH FASCISM! ABE OUT!



金曜官邸前抗議



月刊・金曜官邸前抗議通信

【他団体との共催・協力など】

- NO NUKES DAY(さよなら原発 1000万人アクション、原発をなくす全国連絡会との共催) 開催回数6回
- 安倍政権 NO!☆実行委員会(事務局)
- パワーシフト・キャンペーン(運営団体)
- 日印原子力協定国会承認反対キャンペーン(運営団体)
- 総がかり行動実行委員会(実行委員会参加)
- 原発現地へ行く会
- 原発現地での集会などへの協賛・賛同



安倍政権 NO!☆実行委員会(事務局)



原発現地での集会や抗議への参加



各種イベントでのブース出展

【その他】

- HP、ブログ、SNS(Twitter、Facebookなど)の運営 ●街宣周知活動 ●申し入れやステートメントの発表
- 原発現地での集会や抗議への参加 ●海外交流(台湾、インド、アメリカなど) ●グッズ展開(Tシャツ、缶バッジなど)
- ライブハウスなどでのイベントの主催 ●各種イベントでのブース出展 etc....

【活動の軌跡】については、詳しくはこちらをご覧ください。 <http://coalitionagainstnukes.jp/?p=6160> <http://coalitionagainstnukes.jp/?p=6199>

【活動の収支報告】 http://coalitionagainstnukes.jp/?page_id=2365